



異動経歴

H28年採用 県土整備部 用地課
H31年 自動車税事務所

育児休業取得期間 R2年4月29日～R4年4月25日

Q1 仕事の内容とやりがいを感じる瞬間について教えてください。

自動車税に関する窓口での手続や電話での問合せへの対応、収納した自動車税の管理・集計業務を担当しています。

業務自体は毎月のルーティンをこなすといった内容が多いのですが、問題・課題が発生したときに、周囲の人と協力しながら考えて、解決できたときにやりがいを感じます。

Q2 育児休業を取得する際、周囲の反応はどうでしたか。

妊娠中はつわり等で体調が悪かったのですが、上司や周囲の方々にサポートしていただき、無事に産前休暇に入ることができました。子供を妊娠したことをとても喜んでくれて、「必要があれば業務の手伝いをするので、遠慮しないでくださいね」と言ってもらえたことが、今も心に残っています。

Q3 育児休業中の職場のサポート体制はどうでしたか。 (職場からの連絡や情報提供など)

提出が必要な書類を郵送していただいたり、事務所の近況をメールや手紙で伝えてもらっていました。

Q4 職場復帰への不安や心配はありましたか。

産前産後休暇を含め、約2年間の休みを取っていたため、仕事の勘を取り戻すことができるか不安がありました。また、仕事・家事・育児という日々の生活を上手くこなしていけるかという心配もありました。

Q5 復帰時の職場のサポート体制はどうでしたか。

復帰時期が職場の繁忙期と重なっていたため、職場全体が大変な時期だったのですが、快くサポートしていただきました。育児休業前とは業務で使うシステムが変わっていたり、新しく導入されたものがあったりと最初は戸惑うことも多くありましたが、職場の皆さんのおかげで徐々に慣れていくことができました。

Q6 復帰後に苦労した出来事や、仕事と育児の両立について工夫されていることなどについて教えてください。また、活用した（している）制度があれば具体的な名称も記載してください。

活用した（している）制度

育児短時間勤務制度、休憩時間の特例

子供の体調不良で病院に連れて行ってから出勤したり、急な休みを取ることも多く、業務を思うように進められず苦労しました。そのため、仕事面では、締め切りまで余裕があっても、早め早めに仕事に取り掛かるようにしています。

育児面では、復帰後は子供と過ごす時間が少なくなったので、毎日短時間でも絵本を読んであげたり、話を聞いてあげたりと、子供と向き合う時間をとるよう心掛けています。

Q7 育児休業取得前と後で、仕事をする上で変化したことはありましたか。

子育てを経験したことで、後輩の育て方についての考え方が変わったように感じています。育児休業前、後輩を教える立場だったことがあったのですが、育児で自分の子供が何も知らないところから覚えていく過程や失敗を繰り返しながら学んでいく姿を見て、後輩にもっと寄り添ったサポートの仕方があったのではないかと思うようになりました。今後、また人を育てる立場になった時にこの経験を役立てたいと思っています。

Q8 休日や退庁後の余暇の過ごし方について教えてください。

休日は家族で公園や子供向けのコンサートに出かけたり、家で一緒におやつを作ったりと、子供が小さいうちしか一緒にできないことを存分にしようと思いついて過ごしています。

平日の退庁後は日々のルーティンを回すだけで精一杯なことが多いのですが、朝早起きをして、家族が起きる前に、一人で好きな動画を見ながらお気に入りの朝食メニューを食べるという自分時間を持つことで、その日一日の英気を養っています。

Q9 今後の目標や挑戦してみたいことなどを教えてください。

育児休業中に子供の食育に興味を持ち、食育に関する資格の勉強を始めました。県庁内でもその資格を生かせるような仕事に挑戦してみたいと思っています。

ある一日の流れをピックアップ

- 5:00 起床・自分の朝食
- 6:00 家事
- 7:00 家族の朝食
- 8:20 夫と子どもを見送る・ストレッチ
- 10:00 出勤
- 15:40 退庁
- 16:30 保育園お迎え
- 18:00 夕食
- 19:00 お風呂
- 20:00 寝かしつけ
- 21:30 残った家事終了後就寝

